

●都市マスニュースとは・・・

富士市都市計画マスタープランの策定に向けた、地域別協議会の活動をはじめ、都市計画マスタープランの策定状況や、催しの開催予定などの情報を、市民のみなさんに随時お知らせするものです。



富士市都市計画マスタープランの検討は、第5回地域別協議会の後、第8回策定委員会※を開催しました。また、この委員会と同じ内容の資料を地域別協議会委員のみなさんにお送りし、2月末～3月にかけて意見を募集しました。現在、それらのご意見をふまえ、素案のとりまとめ作業をおこなっています。

※策定委員会は、市職員と学識経験者により構成され、富士市都市計画マスタープランの内容を検討し、策定する組織です。

第8回 策定委員会

2月18日（火）の14：00より、ラ・ホール富士にて、第8回策定委員会を開催しました。今回は、地域別協議会の各ブロックより代表者4名と、市民会議委員（各種団体からの推薦者）の方々にもご参加いただき、一緒に議論しました。

会議では、「地域別構想（案）について」、「全体構想（案）について」、「恵みの循環軸の形成に向けて」の3点を議題とし、素案をまとめるにあたり、留意すべき点等について検討しました。以下に、その概要をお知らせします。



地域別構想（案）について

- ・公共交通の充実に関する可能性について示せないか。商業や福祉など、将来の生活像全体に関わってくるのではないか。
- ・水質浄化のための施設整備が、行き届いて

いないところへの対策を、強調しても良いのではないか。（上流にあたる丘陵部など）

- ・遮るものがなく、富士山全体が見えるのは富士市の特徴である。その点を活かすべきではないか。
- ・富士常葉大学は、全国的にも珍しい環境防災学部のある大学である。若い力と協力したい。
- ・田子の浦港では、人の集まるしかけをつくと面白いのではないか。市民が盛り上げていくことも重要である。



全体構想（案）について

- ・防災の面からも、基盤整備を推進していくという方針を記述してはどうか。
- ・「ひとづくり」が重要である。災害に備えコミュニティを形成することの重要性について、記述してはどうか。
- ・商店街の活性化には、これからは若い人たちの視点を大切にしていくことが必要である。

恵みの循環軸の形成に向けて

- ・市側の具体的な体制について書き込むべきではないか。
- ・市民の思いが継続しにくいという課題があげられたので、思いをうまく汲み上げ、活かしていくしくみができるとう良い。
- ・まちづくりに関わるNPOをネットワークする機会などを検討してはどうか。
- ・これまでは、市民がまちの将来像を共有できていなかった。簡単で、誰もがわかりやすい将来像を描けると良い。

地域別協議会委員のみなさんからのご意見

委員のみなさんから郵送等でお寄せいただいたご意見のうち、ここでは、「地域別構想（案）」に関するものをお知らせします。（主なもの）

まちづくりの目標

：各ブロックの将来像を端的に示す「キャッチフレーズ」をご提案いただきました。

■中部ブロック

- ・人々が行き交い、そこに産業が盛んになり、元気が沸いてくるまち
- ・多くの人が住まい、集う、いきいきした魅力あるまち

■東部ブロック

- ・恵まれた自然環境の中で共に生きてるまち
- ・山から海まで連なる、恵まれた自然環境を活かしたまち

■西部ブロック

- ・「いきいき環境」で豊かな市民生活のできるまち
- ・自然環境を尊重した、人も自然も元気なまち
- ・水源の自然や農林業とともに、市民がいきいきと生活できるまち

■南部ブロック

- ・富士市の玄関口にふさわしい、活気と潤いにあふれたまち

- ・富士市の玄関口にふさわしい、多様な魅力を活かしたまち
- ・いきいき、ゆったり、みらいが実感できるまち
- ・どこからも美しい富士山を望め、富士市の玄関口としての利便性に優れたまち
- ・自然とまちなみが融合した、魅力あふれるまち
- ・日本一美しい「富士山」にふさわしいまちなみを持ち、富士市の玄関として利便性の高い交通アクセスを築くことにより、人々の交流の拠点としての役割を果たせるまち

まちづくりの方針・方針図について

- ・工業地が含まれる地域では、工業の振興や誘致によるまち全体の活性化を図りたい。
- ・浮島湿原が虫食い状態になりつつある。生態系を維持するには、それなりの面積を徹底して保全することが必要ではないか。
- ・地域の歴史・文化・自然を子どもの頃から見て歩き、興味を持たせることが、湧水の保全につながるのではないか。
- ・保全のエリア・保全と共生のエリアを守るには、人の確保も必要である。環境に影響の少ない産業の誘致や、人が住むための条件整備も必要ではないか。
- ・農地を活かしたまちづくりには、規制のための手法の検討が大切ではないか。
- ・JR富士駅周辺では、北と南の商業を結びまちを考えるべきではないか。

今後のスケジュール

内 容	4～6月	7～9月	10～12月	1～3月
○今後のまちづくりの進め方検討	代表者会議			
○全体構想（案）・地域別構想（案）の内容調整		全体報告会	富士市都市計画審議会	
○とりまとめ	素案まとめ	計画案まとめ		素案・公表

今後は、代表者会議にて内容の最終調整を行い、素案をまとめます。そして市民のみなさんから広く意見を募集し、計画案としてとりまとめます。また、7月頃には、4地域合同で、素案の報告会を予定しておりますので、今後ともご協力をお願いいたします。

市ホームページに「地域別構想（案）」を掲載しました。ぜひご覧ください。

◆お問い合わせ先 富士市都市整備部都市計画課

TEL : 0545-51-0123 (内線) 2413 FAX : 0545-51-1987 e-mail : toshikei@city.fuji.shizuoka.jp

富士市都市計画マスタープラン ホームページ

<http://www.city.fuji.shizuoka.jp/cityhall/tosise-b/tosikei/index.htm>